

かわいいモノ研究会

～カワイイは次世代商品のキーワード～

産業部 流通・サービス産業課

TEL 082-224-5655

思わず微笑んでしまう、心がなごむ・・・。“カワイイ”ものを見ると人は幸せな気持ちになります。そしてふと手を伸ばしてみたり、誰か親しい人に見せたいなど、ブログでつぶやいたり、LINEで共有したりといった行動を伴うこともあります。

日本には、伝統的工芸品や工業製品などの「いいもの」が数多くありますが、いいものであっても遠くから見ているだけではその良さが分かりません。そこで、「いいもの」に日本の感性である「カワイイ」を掛けあわせたらどうなるか。これまで遠くから見られているだけだったものに「カワイイ」の要素が加わると、手にとってもらえることができ、細かい加工や肌触りなどが実感され、その良さが伝わるに違いない！

当局では、“カワイイ”の特性と高い品質を誇る日本の伝統的工芸品・工業製品の“いいもの”を掛けあわせた「カワイイモノ」を思考・発信する「カワイイモノ研究会」を立ち上げ、企業における商品開発支援やデザイン・ブランドの権利化支援、試作評価、展示会出展による販路開拓など、開発から流通までのプロセスを一貫してバックアップする取り組みを平成26年度に開始しました。

本稿では、キックオフセミナーから東京ギフトショー出展までの昨年度の取り組みと今年度の活動予定をご紹介します。

● キックオフセミナー

平成26年7月、「カワイイモノ・ブランドデザイン キックオフセミナー」を中国地域の4カ所で開催しました。

セミナーでは、本研究会のアドバイザーを務めていただいている、広島大学大学院 総合科



学研究科 准教授 入戸野 宏氏、レクシア特許法律事務所代表パートナー 松井 宏記氏、研究会参画企業である、株式会社晃祐堂 専務取締役 土屋 武美氏にご講演いただきました。

このセミナーをきっかけに、どれくらいの企業さんやデザイナーさんが研究会の趣旨に賛同し、参画してくださるか……。不安と期待に胸を膨らませながら、いよいよ研究会がスタートしました！

キックオフセミナーの詳細は、[旬レポ中国地域 2014年9月号](#)をご覧ください。

.....

● 研究会

第1回（平成26年10月1日）

研究会メンバーの初顔合わせです。ふたを開けてみると、参画企業は、中国5県からバランスよく7社集まり、デザイナー・クリエイターの方も5名ほどお集まりいただきました。

第1回研究会では、各企業による企業概要・商品紹介・新商品開発についてプレゼンしていただき、それぞれにアドバイザーの皆さんからコメントをいただきました。アドバイザーの皆さんからのコメントを踏まえ、第2回研究会までに、各社が商品の試作等を進めることになりました。

第2回（平成26年11月11日）

第1回研究会から1ヶ月。第1回研究会でのアドバイザーの皆さんからのコメントを踏まえ、各企業から商品開発イメージを発表していただきました。また、本研究会アドバイザーの、セメントプロデュースデザイン 代表取締役 金谷 勉氏から商品開発とマーケティング手法についてご説明いただきました。

本研究会では、平成27年2月に開催される東京ギフトショーへの出展を目指して商品開発を行いました。開発する商品は、「3,000円程度のギフト商材」となりました。

なんと、第2回研究会にはテレビ局2社の取材があり、研究会終了後も企業やアドバイザーの皆さんが取材を受け、ニュース番組などでも取り上げられました。



第3回（平成26年12月5日）

第3回研究会では、12月に予定しているモニター調査と2月に開催予定の東京インターナショナルギフトショーに向け、出展商品の確認などが行われました。第2回研究会に引き続き、この日もテレビ局の取材がありました。



第4回（平成27年1月16日）

ギフトショー出展に向け、最終の打合せと確認を行いました。最終的に、ギフトショーには4社が出展することになりました。

.....

🍀 モニター調査（平成26年12月13～16日）

株式会社ハーストーリープラス様、広島女学院大学様にご協力いただき、研究会で改良した商品のモニター調査を実施しました。20～40代の女性120名に、実際の商品をご覧いただき、率直なご意見をお聞きすることができました。ここでいただいたご意見が商品に反映されています。

モニター調査の状況を定点観察し、どの商品を手にとっていくか、かわいさとの関係性もチェックしました。



.....

🍀 東京インターナショナルギフトショー（平成27年2月4日～6日）

平成27年2月4日から6日までの3日間、東京ビッグサイトで開催された東京インターナショナルギフトショーに出展しました。本ギフトショーは、出展企業2,400社、来場者は20万人が見込まれる、日本最大規模のトレードショーです。東京ビッグサイ

ト全館を用い、テーマ毎に小間割がされますが、今回“かわいいモノ研究会”は、デザイン性の高い商品を集めたクラフトデザインコーナーに出展しました。

2小間分のブースを確保し、全体的にかわいく柔らかい雰囲気仕上げました。そして、かわいいモノ研究会のコンセプトを、壁全体を使って説明し、他のブースとの差別化を図りました。一般的なブースと違う見た目と、商品の魅力により、多くの方が足を止めてくださり、スタッフが休憩をとる時間もないほどの盛況ぶりでした。

日本のマンガやアニメ、さらにはアイドルなど、日本の“カワイイ”文化はヨーロッパやアメリカ、アジアでとても人気があります。ローマ字で書く“kawaii”は、今や世界共通語にもなっていますが、かわいいモノ研究会ブースも、外国人の方に興味をお持ちいただき、咄嗟に英語が出てこないもどかしさも味わいました。

各社平均 100 社との商談を行い、売り上げにもつながっています。また、研究会としての催事への出展のお声がけもいただきました。今後、商品数が増えて集客が見込める段階で、企画をすすめていきますので、楽しみにしててください。



●平成 27 年度の活動について

平成 27 年度は、①取り組みを西日本全域に、②「カワイいモノ」を創る発想力アップ、③「カワイいモノ」海外へ、の 3 点を主な柱として引き続き研究会活動を進めていく予定です。

①取り組みを西日本全域に

近畿経済産業局、四国経済産業局、九州経済産業局と連携し、より広域で本研究会の参加企業を 6 月頃より募集します。カワイイは地域横断でコラボレーションできるテーマであり、「広島カワイイ」や「岡山カワイイ」ではなく「ニッポンカワイイ」という発信ができるネットワーク作りを地方から進めていきます。

②「カワイいモノ」を創る発想力アップ

平成 26 年度は、メーカーがカワイイを考えて商品づくりを行いました。外部と商品企画をしたいというニーズもありましたので、若手クリエイターとメーカーが連携して商品づくりを行う取り組みを企画します。5 月頃、10 名ほどの若手クリエイターを公募します。

③「カワイいモノ」海外へ

本研究会では、日用品分野における輸出企業の拡大を目的の一つとしています。本活動の 3 年目（平成 28 年度）には海外展示会にも出展していく計画です。海外出展・販路拡大への準備として、27 年度には海外販路支援アドバイザーを設置し、参加メーカーへのアドバイスや、知財の海外出願に関する勉強会などを行っていきます。



カワイいモノ研究会では、参加されるメーカーを随時募集しています。入会の申込みやお問い合わせは、カワイいモノ研究会特設サイトからお願いします。

カワイいモノ研究会特設サイト

<http://www.chugoku.meti.go.jp/kawaii/index.html>

入会の申込み・お問い合わせはこちらから

<http://www.chugoku.meti.go.jp/kawaii/admission.html>